

痛み相談窓口をご利用されているみなさまへ

当相談窓口では、下記の疫学研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、臨床研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針、疫学研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	難治性疼痛及び慢性疼痛に対する電話相談での認知行動療法的指導による効果検証
担当科等	愛知医科大学 学際的痛みセンター
研究責任者	運動療育センター（痛みセンター） （職名）助教（氏名）池本竜則
研究の意義・目的	<p>NPO 法人いたみ医学研究情報センターでは、2012 年公表された「今後の慢性の痛み対策についての提言」に基づいた「からだの痛み相談支援事業」を厚生労働省公募事業として行っており、全国民を対象に痛みの電話相談窓口を開設し、電話相談を行っています。本相談を行う際には、慢性痛患者の状態を傾聴して把握し、介入法の一つに認知行動療法があり、適応があると考えられる患者さんに提案し、受け入れていただいた方には、電話相談を介して、認知行動療法的指導を行っています。</p> <p>そして、その経過について聴取可能である症例については、初回相談時から 3 カ月以降、相談者の許可のもとに、追跡調査を行い認知行動療法の効果の検証を行っています。そこで、本研究では、認知行動療法的指導について電話相談を介して受けてきた患者の追跡調査を、後ろ向きに評価分析し、認知行動療法的指導が慢性痛患者の ADL および QOL を含めた身体と精神機能に与えた効果を検討します。</p>
対象者	2014 年 1 月から 2017 年 3 月までに痛み相談窓口をご利用された相談者
研究の方法	平成 26 年 1 月 5 日以降に愛知医科大学学際的痛みセンターに設置されている NPO 法人いたみ医学研究情報センターの痛みの電話相談窓口にご相談してきた、難治性疼痛および慢性痛を有する者の中で、1 年以上の慢性疼痛を有する者を対象とする。評価項目は、疫学背景として相談者の年齢、性別を、またアウトカムには日常

	<p>臨床診療で用いられている痛みの強さ(NRS)、健康関連 QOL(EQ5D)、痛みの主観的な変化(悪化した・変わらない・良くなった・すごく良くなった)と、生活障害度の主観的な変化(悪化した・変わらない・良くなった・すごく良くなった)について、初回相談時および初回 3 ヶ月後以降 6 ヶ月後以内に行われた追跡結果を後ろ向きに比較検討する。</p> <p>追跡調査については、以下の手順で行う。</p> <p>電話相談の際に、相談者本人から追跡調査の可否について了解を得た後、NPO 法人いたみ医学研究情報センターのホームページにあるメールアドレス (npo-itamicenter@pain-medres.info) に同意をする事を記載したメールを送付いただく。</p> <p>個々の症例について、個人情報 を完全に不明とした状態で学術研究などの資料として用いることを説明する。</p> <p>許可が得られた相談者から、追跡調査先の電話番号を伝えてもらう。</p> <p>メール送信が困難な場合は、電話番号の提供をもって情報提供の同意と判断させてもらう。</p> <p>また、本研究に関する情報は、NPO いたみ医学研究情報センターのインターネット上に公開し、相談者はいつでも症例使用の可否について拒否することが出来る。取得し得たデータは匿名化の後に、愛知医科大学学際的痛みセンターに集約して分析を行う。</p>
研究期間	2014 年 1 月 5 日 ~ 2017 年 3 月 31 日
個人情報の取り扱い	<p>利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表されますが、その際も個人を特定できる個人情報は利用しません。本研究への利用を拒否される方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。</p>
その他	
問い合わせ先	<p>愛知医科大学 運動療育センター(痛みセンター) 担当者 : (職名) 助教 (氏名) 池本竜則 電話 0561-61-1809 (内線 78295)</p>